

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

グループ理念

鉄道事業を中心に首都東京の都市機能を支え、安全・安心で快適なサービスを提供し、東京に集う人々の生き生きとした毎日に貢献する

連結ROE
7.7%

連結営業利益
930億円

連結EBITDA
1,740億円

CO₂削減
53%

2 中長期の経営戦略

1. 鉄道安全性・利便性向上

自然災害対策、セキュリティ強化、バリアフリー化（ホームドア2025年度全駅設置完了予定）、CBTCシステム・CBM・GOA2.5導入

3. 鉄道需要創出・DX推進

メトポ「ランク制度」・「休日メトロ放題」、東京メトロmyアプリ強化、クレジットカード・QRコード乗車サービス、Tokyo Subway Ticketなどインバウンド施策

2. 新線建設推進

有楽町線延伸（豊洲・住吉間）・南北線延伸（品川・白金高輪間）を2024年11月着手、2030年代半ばの開業を目指す。東武スカイツリーラインとの相互直通運転実現

4. 海外鉄道ビジネス拡大

約100年の鉄道運営ノウハウを活用し、世界のO&M市場に進出。環境に優しい鉄道技術の海外展開を推進

3 対処すべき課題

① 経営環境の課題

- ・自然災害の激甚化への対応
- ・テレワーク定着による移動需要減少への対応
- ・労務費・原材料費上昇と人手不足への対応

② サステナビリティ推進

- ・「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」実現に向けた2027年度△50%目標の前倒し…
- ・人的資本経営推進と人権尊重の徹底

③ 組織基盤強化

- ・デジタル技術活用とデータ共有基盤整備
- ・全社員のデジタルリテラシー底上げ
- ・コーポレート・ガバナンスの充実

面接で使えるポイント

- ・東京証券取引所プライム市場上場（2024年10月）を契機とした新たなステージでの事業展開に注目。
- ・約100年の鉄道運営ノウハウを活かし、海外O&M市場進出による新たな収益源獲得。
- ・連結ROE7.7%、連結営業利益930億円（2028年3月期末目標）達成に向けた中期経営計画「Run!～次代を翔ける～」…

証券コード 9023

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,224億円営業利益率
21.2%財務健康度
46点 /100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.2（当サイト算出の参考指標）

要するに

東京都区部を中心に9路線からなる地下鉄ネットワークを保有・運営する陸運業企業

主力事業・セグメント

- ・運輸 91.0%
- ・Consumer・コーポレートサ 5.6%
- ・不動産 3.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4,224億円の事業規模
- ・営業利益率21.2%と高い収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収

837万円

陸運業内 7位/57社

平均年齢

39.7歳

陸運業内 50位/57社

平均勤続

18.1年

陸運業内 10位/57社

女性管理職

3.3%

陸運業内 37位/46社

男性育休

97.0%

陸運業内 16位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

